

第24回全日本スピードスケート距離別選手権大会 要 項

2017年8月4日
2017年9月16日修正

1. 主催

公益財団法人日本スケート連盟（以下、「本連盟」という。）

2. 共催（予定）

長野市

3. 後援（予定）

長野県 長野県教育委員会 公益財団法人長野県体育協会 長野市教育委員会
公益財団法人長野市スポーツ協会 信濃毎日新聞社 株式会社エムウェーブ

4. 主管

長野県スケート連盟

5. 会場

長野市オリンピック記念アリーナ（エムウェーブ）

長野県長野市北長池 195 TEL：026-222-3300

※競技会に関することは、会場への問い合わせをしないこと。

6. 競技距離

女子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m マスタートレース(16周)

男子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m 10000m マスタートレース(16周)

7. 日程

2017年10月19日(木)

代表者会議及び抽選 17:00（エムウェーブ）

2017年10月20日(金)

公式練習 9:00-9:40、9:55-10:35（スタートトライアル 9:20-9:40、10:10-10:35）

ウォームアップ 10:55-11:35、11:50-12:30（当日出場者のみ）

オープニングセレモニー 12:40（リンク中央）

競技開始 13:00 ①男子500m ②女子1500m ③男子5000m

2017年10月21日(土)

公式練習 9:00-10:05

ウォームアップ 10:25-11:05、11:20-12:00（当日出場者のみ）

競技開始 12:30 ①女子500m ②男子1500m ③女子3000m ④男子3000m

2017年10月22日(日)

ウォームアップ 8:00-8:40、8:55-9:30（当日出場者のみ）

競技開始 10:00 ①女子5000m ②男子10000m ③女子1000m ④男子1000m

⑤女子マスタートレース ⑥男子マスタートレース

ファン交流会 競技終了30分後

閉会式 派遣選手選考委員会終了後（17:30 予定）

8. 競技方法

(1) 国際スケート連盟スピードスケート競技規則(以下、「ISU規則」という。)、本連盟スピードスケート競技規則及び本要項による距離別競技とする。

(2) トラックは標準400mダブルトラックCタイプとする。ただし、マスタートレース(以下、「MSR」という。)にあってはアップレーンを含めた全面とする。

(3) 女子3000m、男子3000m及び男子5000mにあってはカルテットスタート競技方法を採用する。

(4) 組合せ手順及びスタート順

ア) 各距離の組合せ及びスタート順は抽選による。この場合、ISU規則第239条2項、4項、第240条5項を準用する。

イ) グループの編成

① 各距離とも、本連盟が公表したカルガリー又はソルトレークシティで樹立したものを除く当該距離の前年

度タイム(以下、「前年度タイム」という。)に基づいてエントリーされた者を次のように6名ずつのグループに分ける。この場合、前年度タイムの6位、12位、18位等々に同順位があるときは抽選により属するグループを決定する。

- Aグループ 1位-6位
- Bグループ 7位-12位
- Cグループ 13位-18位 等々

② 前年度タイムのない者は同一の最下位グループとする。

ウ) 組合せは前記(4)イ)のグループごとの抽選とする。

エ) 組のスタート順は前記(4)イ)の下位グループからとし、最後にAグループとする。

オ) 抽選後の棄権に伴う組の調整はI S U規則第245条3項を適用する。

(5) 各距離の最終順位はI S U規則第265条、第268条及び第275条を適用する。

(6) マスタートレース

ア) エントリーされた者を抽選により順位付け、1列から6名ずつ列を編成する。

イ) レース中、3回の間中スプリントと最終スプリントを設定する。最終順位は中間と最終のスプリント合計により、続いてフィニッシュ順に従って決定される。以下、I S U規則第265条6項を適用する。

ウ) マスタートレースの競技方法はI S U規則第253条4項b)を適用する。この場合、規則に定める安全対策のうち、ヘルメット(ショートトラック基準に適合するもの)、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカット(先端、後端とも)は義務付けるものとする。なお、レーシングスーツはカットレジスタンスであることが望ましい。(詳細はI S UコミュニケーションNo. 2038又は改訂版参照)

9. 表彰

各距離とも1位から3位までの者にメダル及び賞状を授与する。

10. 参加資格

本年度の本連盟登録競技者であって次の各号いずれかに該当する者

(1) 前年度I S U主催競技会に日本代表となった者(派遣対象となった距離に限る)

(2) いずれかの距離の前年度タイムが35位以内(女子5000m及び男子10000mにあっては10位以内)の者

(3) 前年度のジャパンカップポイント合計が次の表に掲げる基準に該当する者

500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
10位以内	10位以内	10位以内	10位以内	10位以内 (女子6位以内)	6位以内	6位以内

(4) 前年度の競技会の成績が次の表に掲げる基準に該当する者

対象競技会	500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
全日本スピードスケート選手権大会	——	——	6位以内	6位以内	6位以内	6位以内	——
全日本スプリントスピードスケート選手権大会	6位以内 (注1)	6位以内 (注1)	——	——	——	——	——
全日本スピードスケート距離別選手権大会	6位以内	6位以内	6位以内	6位以内	6位以内	6位以内	6位以内
全日本ジュニアスピードスケート選手権大会	6位以内	6位以内	6位以内	3位以内	3位以内	——	3位以内
ジャパンカップスピードスケート競技会	3位以内	3位以内	3位以内	3位以内	3位以内	3位以内	3位以内
日本学生氷上競技選手権大会	3位以内 (注2)	3位以内	3位以内	3位以内	3位以内	3位以内	——
日本学生スピードスケート選手権大会(総合部門)	——	——	3位以内	3位以内	3位以内	3位以内	——
日本学生スピードスケート選手権大会(スプリント部門)	3位以内 (注1)	3位以内 (注1)	——	——	——	——	——
全国高等学校スケート選手権大会	3位以内 (注2)	3位以内	3位以内	3位以内	3位以内	3位以内	——
全国高等学校選抜スピードスケート競技会	3位以内 (注2)	3位以内	3位以内	3位以内	3位以内	——	3位以内
全国中学校スケート大会	優勝者 (注2)	優勝者	優勝者	優勝者	優勝者	——	——

(注1) スプリント選手権にあっては、いずれかの500m又はいずれかの1000mの順位

(注2) 2x500mにあっては、合計タイムの順位

(5) 本連盟スピード部委員会が特に認めた者

- (6) 外国選手の特別参加は、本連盟事業による国際交流、海外チーム招待、選手招待等の場合に限り、本連盟スピード部委員会において審議のうえ、理事会において可否を決定する。ただし、選手権は与えないものとする。

11. 参加制限

- (1) 各距離とも参加資格を得た距離のみとする。
- (2) 男子 3000m については本年度ジュニア対象年齢者(1998年7月1日以降に生まれた者)のみとする。この場合、本年度シニア対象年齢者であってこの距離への参加資格を獲得した者の参加資格は次のように扱う。
- ア) 1500m又は5000mに限り振り替えを認める。この場合、振り替えられた距離が10. 参加資格(1)から(4)の基準を満たすか否かは問わないものとする。
- イ) 前記ア)の者が、すでに1500m又は5000mの参加資格を有する場合であっても前記ア)以外の距離への振り替えは認めないものとする。
- (3) 女子 5000m及び男子 10000mについては次の優先順で最大8名とする。
- ア) 本競技会の女子 3000m及び男子 5000mの6位以内の者
- イ) 当該距離の前年度タイムが10位以内の者
- (4) MSRについては最大24名とする。この場合、24名を超えたときは1500mの前年度タイムのない者及び下位者を順次除外する。
- (5) 本連盟強化指定選手については前記(1)の制限に関わらず参加資格を取得していない距離への参加を認めることができる。この場合、本連盟強化委員会が推薦し本連盟スピード部委員会が承認した者に限る。

12. 参加申込

- (1) 参加資格を有する者についてはJSFマイページ (<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>) の競技会参加申込サイト(以下、「サイト」という。)で申込むこと。
- ア) 参加申込に際しては参加申込者のメールアドレスを入力し参加申込完了直後にサイトから自動送付される参加申込受理の通知(以下、「受理通知」という。)を受け取る。この受理通知は参加申込にかかる疑義が生じた際確認するため、代表者会議が終了するまで保存しておくこと。
- イ) 参加申込にかかる疑義で受理通知が確認できない場合は参加申込締切時の参加申込状況により以後の処理を行うものとする。
- ウ) 参加申込締切前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合はサイトで行うこと。この場合、前記(1)ア)同様に受理通知を受け取る。 (サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。)
- エ) 参加申込締切後に参加を取り消す者は大会事務局へ必ず棄権届出書(別紙3)を提出すること。
- オ) 大会事務局
〒381-0025 長野県長野市北長池 195 エムウェブ内
全日本スピードスケート距離別選手権大会事務局
TEL:026-222-3300 FAX:026-222-3222 E-mail:info@skating-nsa.jp
- 本連盟事務局
〒150-8050 (公財)日本スケート連盟 (郵便番号の記載により、住所の記載は不要)
TEL:03-3481-2351 FAX:03-3481-2350 E-mail:jsf@skatingjapan.or.jp
- カ) 参加申込状況は参加申込締切後直ちに本連盟ホームページに公開する。
- (2) 参加申込料は参加申込者の銀行振込みで支払う(銀行振込に限る)ものとし振込手数料は申込者の負担とする。ただし、複数の申込者の参加料を一括して支払う者については、参加申込料振込明細書(別紙2)を大会事務局へ送付すること。
- ア) 参加申込料 1名 1距離 5,000円、2距離以上 10,000円
- イ) 振込先 金融機関名: 八十二銀行 南長池支店
口座番号: 普通 212997
名義: スケート大会長野事務局 事務局代表 渡辺 勇 (ワタナベ イサム)
- ウ) 参加申込締切後はいかなる場合も支払われた参加申込料は返還しない(未納の者についてはこれを徴収する)。ただし、本連盟が特に認めた者はこの限りではない。
- エ) 前記(2)ウ)ただし書きに該当する者の支払われた参加申込料は銀行振込により返還するものとする。この場合、振込手数料は主催者の負担とする。
- (3) 参加申込締切 **2017年10月5日(木) 正午** ※受付開始: 2017年9月6日(火)
- (4) 中学生以下の者についてはサイトから出力した参加申込書(副)の親権者署名欄に親権者が自署した参加承諾書を最初の代表者会議までに大会事務局へ提出すること。
- (5) 参加申込が遅延した者(参加申込締切までに参加申込料が納入されていない者を含む。)又は参加申込書が不完全な者は本競技会への参加を認めない。
- (6) 参加申込にかかる個人情報、個人情報の保護に関する法律・関連法令を厳守し、競技運営以外の目的には使用しない。

13. 宿泊

各自で手配すること。

14. その他

- (1) 本競技会中(7. の全日程中)の事故等については応急処置のみとし責任は負わない。
- (2) 本競技会への参加に際してはスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。
- (3) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
 - ア) 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
 - イ) 未成年者(20歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
 - ウ) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
 - エ) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。
- (4) 本競技会の成績により次の競技会への派遣選手を選考する。
 - ア) 2017/2018 ISUワールドカップスピードスケート競技会第1戦から第4戦
 - イ) 2017/2018 ISUジュニアワールドカップスピードスケート競技会第1戦、第2戦
- (5) 公式競技会への参加に際しては、バッジテスト級認定証を携行すること。

この大会は、「ながの夢応援基金」を活用しています